

⑩ 重複障害者援助技術

課題 重複障害の原因と病態、合併症などをまとめその対処方法、留意点について述べなさい

まず、はじめに、重複障害とは、この文字が表すように、視覚障害、聴覚・言語障害、運動機能障害(肢体不自由)、知的障害、病弱の障害が、2つ以上併せ持った状態にあるということである。また、例えば情趣障害(発達障害)等を併せ持っているケースも、広い意味で重複障害であると捉えられている。このような複数の障害を抱えた利用者は、生活の多くの場面で生きづらさを抱えている。私の施設の利用者にも、障害を多数抱えて生活している方がいる。また、つい先日まで、重度の脳性麻痺と肢体不自由と知的障害を併せ持った利用者も入所していた。とても残念なことに、この利用者は突如急変し、先日亡くなった。この利用者に関わった経験から、私は支援者として、原因や病気の状態(具合)、合併症を知識としてきちんと理解し、その上で技術を用いて、きめ細かい支援を行っていかねばいけなさと痛感したのである。

それでは次に、さらなる知識を深めるために、重複障害の原因・病態・合併症についてまとめる。重複障害の発生原因は、様々である。それとして、主に指摘をされているのが、脳の中樞神経系の異常や損傷である。具体的に脳性麻痺や外傷性脳損傷があり、また染色体異常による神経の疾患も要因と考えられている。また病理的や心理社会的要因もあると言われている。病理的で挙げるならば、例えば、両親や母親の体質

や持病を、子どもが受け継いでしまい、生来病弱に生まれたり、先天的に脳神経系や身体機能系に何らかの病変を持って生まれてきたりするケースもある。心理社会的要因で挙げるならば、例えば貧困や母親の栄養不良、知的障害の場合だと、親の養育態度等も障害発生に影響し、環境面の問題も指摘されている。

脳の中樞神経系の異常や障害により、様々な病気の状態も出てくる。例えば、視覚神経に異常をきたし、目が見えにくく(見えなく)なる。言語野に異常をきたし、言葉が出なくなり、コミュニケーションに難が出てくる。脳性麻痺は、筋緊張を起こし、それが喘鳴・身体部分の変形(萎縮・固縮等)・股関節異常・摂食困難・嘔吐・便秘等にもなる。呼吸器障害(肺炎等)や栄養不良、消化器・排泄器の病ということである。冒頭で記述した、私の施設にいて亡くなられた方は、肝硬変を発症していた。病変もこのように様々である。

重複障害に伴う合併症としては、障害の発生に伴って部分的に症状として起こるものと、加齢に従って起こってくるものの2種類がある。前者としては、ダウン症の心臓奇形、甲状腺機能障害、てんかん、頸椎不安定症等が代表的である。後者としては、動脈硬化や糖尿病、高血圧などの生活習慣病が挙げられる。以上の要因、病態、合併症から考えると、私たち支援者は、重複障害の利用者に対して、様々な心配り・目配り・心配りを行っ

ていかなければいけないのである。

では、さらに、支援をする上で具体的にどの様な点に気を付けて、対応をしなければいけないのかについて述べる。重複障害の利用者は、身体状態と精神状態双方に、多大な不安を抱えている。具体的に重度の肢体不自由と重度の知的障害の利用者のケースから考える。運動機能障害により、自分で歩くことができないし、食事や排泄や更衣も自分で行うことができない。また、知的障害により言葉がほとんどないのである。移動のための手助けとして、その方に適合した車いすを選定し使って頂くことや、食事の場面で咀嚼力や嚥下力が弱かったりする場合は、適切な食事形態にして摂って頂いたり、支援者がマンツーマンで付く態勢を整備することも大切である。車いすからベッド、その反対もある移乗の場面では、安全に配慮して、2人の支援者で行うことも必要である。排泄場面においては、羞恥心やプライドに充分配慮し清潔の保持と質・量・時間等データに基づいた支援が大切となる。また、最も大切なことは、本人の意思を汲み取るための工夫をし、同じ目線で穏やかな口調で

接することである。利用者が「はい・いいえ」で簡単に答えられる様な会話も大切である。利用者が安心できる心の関係を私たちは築いていくことが求められる。反応や意思を確認することが、困難な利用者もいるが、支援者の一方的な対応や介助は、絶対にあってはならないのである。

最後に、連携と協働について述べる。重複障害の利用者を支援する際に、家族や他(多)職種との連携や協働は必須である。利用者の家族の意向をしっかりと把握し共感した上で、いつ命の危険が起こるかもしれない利用者に対して、緊張感と使命を持って、介護福祉士・看護師・医師・社会福祉士・精神保健福祉士・理学作業療法士等といった他(多)職種がしっかりとタッグを組んでいくことが、支援の成功に重要なポイントになってくるのである。

〈引用・参考文献〉

- ・「新・介護福祉士養成講座 8」
中央法規出版株式会社
- ・「最新介護福祉全書11」
株式会社メヂカルフレンド社

講評：

よくまとまっています。

一般論だけでなく具体例も含まれていてとても良いレポートです。